

# 子宮頸がんの原因はHPVウイルスです

未来のために、今からできること

## HPVワクチン

まずは電話またはメールでご連絡ください

☎ 0263-28-0055

✉ [kensin@marunouchi.or.jp](mailto:kensin@marunouchi.or.jp)

対象者

現在高校1年生以上の男女

日時

毎月第3・第4水曜日 16:00～ ※完全予約制

ワクチン

ガーダシル® (4価) ※公費助成対象

接種回数：3回

1回目から1ヶ月  
以上あけます

2回目から3ヶ月  
以上あけます

0ヶ月

1ヶ月

2ヶ月

3ヶ月

4ヶ月

5ヶ月

6ヶ月

費用

定期接種対象者・キャッチアップ接種対象者は公費助成により無料

その他の接種希望者：1回¥16,500 (税込)

- ◆定期接種対象者  
小学校6年～高校1年 (相当)
- ◆キャッチアップ接種対象  
平成9年 (1997年) 4月2日～平成19年 (2007年) 4月1日生まれの女性

HPVに感染するとがんになるの？

HPVには100種類以上の遺伝子型があります。ほとんどの型は感染後に自然治癒しますが、一部の型には発がん性があり、持続感染することによって子宮頸がん<sup>1</sup>に進行する可能性があります。

ワクチンを接種すれば、がんにならない？

HPVワクチンは、子宮頸がんの原因の50～70%を占める16型・18型の感染を防ぐとされています。ワクチンだけで癌が防げるわけではありませんが、HPVワクチンと子宮頸がん検診をすることで、高い確率でがんを予防できます。

副反応が怖いです

HPVワクチンだけでなく、全てのワクチンにはメリットとリスクがあります。HPVワクチン接種後に重篤な症状として報告があったのは1万人あたり6人です。一方、一生のうち子宮頸がんになる人は1万人あたり132人です。まずは、ご家庭でワクチンの効果やリスクについて知っていただき、接種をご検討ください。詳しくは厚生労働省作成のリーフレット等をご覧ください。